

# 2023年度活動報告

組込みシステム産業振興機構

## 2023年度 事業計画

### 1. 「組込み適塾」のブランド価値向上

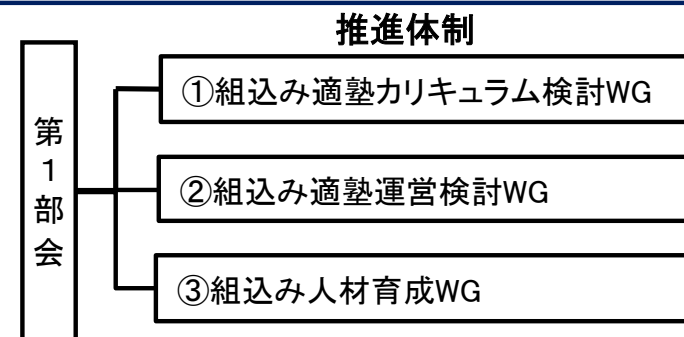
- (1) STEP6事業方針「十字型人材の輩出」を目指したカリキュラムの改善・拡充(①)
- (2) 多様な開催形態における円滑な運営(②、組込み適塾事務局)
- (3) アフターコロナを見据えた組込み適塾開催形態の検討(②、組込み適塾事務局)

### 2. 自由に活発な交流の”場”の提供

- (1) 関係者/講師/受講生間の人的ネットワーク形成の支援(②)

### 3. 日本の組込みシステム産業発展への貢献

- (1) 「十字型人材の育成」に向けた新たな組込み人材育成施策の検討(③)



## 2023年度の実績

### 1. 「組込み適塾」のブランド価値向上

【目標】(1) 受講生満足度85%以上継続。ビジネス・システムデザインコースでの講座新設と講座あたりの受講者数(定員充足率)対前年増。

(2) 受講不可となるような重大なミスやトラブル0件。(3) 次年度の開催形態決定。

【実績】4年ぶりに集合形式主体で開催。受講者数は微増ながら一括受講増により一人当たりの受講講座数増。受講生満足度は89.6%、1.6ポイント良化。

(1) 32講座(対前年-2)、40日間(対前年-2)で開催。コロナ収束により全講座開催。ハイブリッドでの開催はなし。

受講者数は186名(対前年+8名)、延べ受講講座数は697講座(対前年+69)、一人当たりの受講講座数は3.75講座(対前年+11%)

受講機関数は31機関(対前年+7)。新規参加は前年の4機関から9機関(会員4機関、非会員5機関)と増加。

受講生満足度は89.6%で前年より1.6ポイント良化、事業計画目標の85.0%はクリア。講師からの受講生への評価は前年並。

ビジネス・システムデザインコースは、2023年度に1講座新設および地道なプロモーションにより、定員充足率67.1%(44.6ポイント良化)向上。

(2) 集合形式、オンライン形式の講座が混在する中、受講受付業務や講座運営において受講不可につながるミスやトラブルはなし。

(3) 2024年度も同様に集合研修形式の講座主体の運営を継続を決定。但し、講師が希望する場合はオンライン形式での講座開催。

### 2. 自由に活発な交流の”場”の提供

【目標】交流会(適塾)の開催回数対前年増。新たな交流の場の創出。

【実績】適塾受講生と講師との交流会を4回実施(前年比+2回)。新たな交流の場、適カフェ(講座終了後の交流会)を準備、募集したが開催に至らず。

(1) 交流会(適塾)を各コース毎に1回(アーキテクチャ設計コースは2回)、計4回実施し、交流を推進。

(2) 実施できなかった適カフェについて、WGにて改善案を検討し、2024年度は昼食時での適カフェを実施予定。

### 3. 日本の組込みシステム産業発展への貢献

【目標】新規人材育成施策の提案

【実績】WGにて、十字型人材育成ニーズをベースに課題の深堀を実施。プロジェクトマネジメントに関するテーマでの講演を実施。

(1) 「プロジェクト統合マネジメント」についてのテーマで教育懇話会を開催。本テーマがプロジェクトマネジメントスキル向上に有効であることを再認識。

## 2023年度 事業計画

### 1. 戦略的展示会開催による顧客価値創出型ビジネスへの商品提案力強化支援

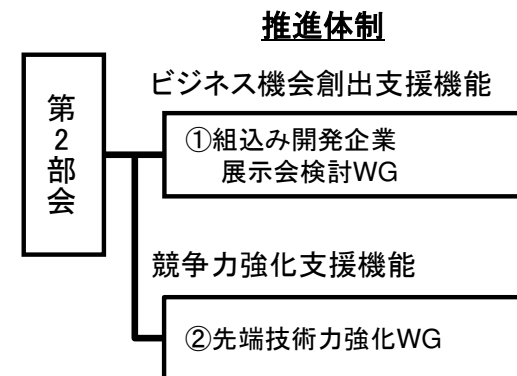
- (1) 戦略的に展示会を開催し、出展先企業のDXニーズに応える商品提案の場を提供(①)
- (2) オンサイト型の開催を目指し、出展先企業の要望によりオンサイト型/オンライン型など多様な開催方式での実施(①)
- (3) 出展先企業のニーズ情報取得、出展先企業との人脈形成など、出展成果向上のための施策実施(①)
- (4) 来場者・出展企業の評価を定量化し、施策改善に活用(①)

### 2. プライベートセミナー、先端施設見学会による競争力強化支援

- (1) 会員に有益なテーマで競争力強化につながる講演を提供(②)
- (2) 組込み開発企業展示会と連携し、産総研講演を会員向けに実施(②)
- (3) 講師と参加者が一体となった活発な意見交換の場と人的交流の場を提供(②)
- (4) 先進取り組み施設見学と技術懇談により、人的交流と触発機会を提供する先端施設見学会を開催(②)

### 3. WINKと連携し、参加チームの要望に応じた支援の場を提供

- (1) WINK参加チームからの要望に応じ、展示会、プライベートセミナーなど部会活動を活用した場を提供(①②)



## 2023年度の実績

### 1. 戦略的展示会開催による顧客価値創出型ビジネスへの商品提案力強化支援

【目標】 年間2回開催。会員メリット向上のための継続的な施策改善。展示会の出展企業の成果の定量化、見える化。

【実績】 組込み開発企業展示会をNTT西日本(1月26日)、日立造船(3月22日)で開催。

- (1) NTT西日本(1月26日)では約70名、日立造船(3月22日)では101名の来場者。
- (2) オンサイト型で開催を実施。
- (3) 事前ニーズ説明会、出展社間の前日交流会を実施。
- (4) 来場者、出展企業に対するアンケートを実施。

NTT西日本・日立造船展示会いずれも、多くは役立った・良かったと評価があった一方、来場者数をもっと増やしてほしいとの意見もあった。

### 2. プライベートセミナー、先端施設見学による先端的技術力強化支援

【目標】 プライベートセミナー 年間4回、先端施設見学会 年間2回開催。

【実績】 プライベートセミナー、先端施設見学会ともに目標達成(第4回プライベートセミナーは4月16日(木)『生成AI』テーマで開催)

※1月より講師と日程調整を実施した結果、ご都合により4月開催。

- (1) 目標通り4回開催。重要分野テーマに関連するAI、DX、エネルギー、生成AIなどのテーマで開催した。  
参加者平均は29名、内、会場参加平均は15名。講師、参加者同士の交流を目的とする会場参加者が多かった。
- (2) 昨年度島津製作所での産総研講演を第3回として1月11日に実施、今年度NTT西日本での産総研講演を第4回として実施。
- (3) 4回ともハイブリッドで開催。すべての回で、講師と参加者が質疑応答、意見交換を行う懇談会と、講師と会場参加者による交流会を開催。
- (4) 「川崎重工業 ロボット施設」と、「5G X LAB (5Gシステムのデモ)」の先進的な2施設を見学。

### 3. WINKと連携し、参加チームの要望に応じた支援の場を提供

【目標】 WINKから生まれたアイデアのビジネス化を促進する場の提供。 【実績】 WINK参加チームからの要望なし

- (1) —

## 2023年度 事業計画

1. 「機構ブランド向上」のための戦略的プロモーション強化と交流活性化
  - (1) 「イベント・広報」「Webサイト」「SNS等」のメディアミックスによる広報効果の最大化
  - (2) 映像コンテンツを活用した効果的なプロモーション展開と会員獲得等への動画利活用の推進
  - (3) 更なるオープン化による交流活性化
2. 公的研究機関、独立行政法人、大学、経済団体等との連携による戦略的情報発信
  - (1) 外部団体との連携による各種セミナーを通じた最先端技術の情報発信
  - (2) 参加者の属性やアンケート結果等の定量的な分析による企画内容の継続的な改善
3. 地域間連携及び団体間連携による更なる活動基盤の拡充
  - (1) 第12回全国組込み産業フォーラムによる中部地域や他地域団体との団体間・会員間の連携の創出
4. WINKコンテストを通じたオープンイノベーションの場の更なる充実
  - (1) 教育とビジネス創出の両輪による運営体制の強化

## 2023年度の実績

【凡例】目標達成:◎ 8割達成:○ 5割達成:△ 5割未満:▲

### 1. 「機構ブランド向上」のための戦略的プロモーション強化と交流活性化

【目標】外部イベントでの情報発信(3件)、映像コンテンツ作成(1件)、共創サロン(2回)、研究会立上支援(1件)

【実績】外部イベントでの情報発信(7件、新聞記事掲載を含む)、映像コンテンツ作成(1件)、共創サロン(1回)、研究会立上支援(1件)

- (1) 関経連「サイバーセキュリティトップセミナー」、機構・ASIF「全国組込み産業フォーラム」で機構紹介を実施。新聞記事は総会、WINK等で5件掲載
- (2) 産総研支援の下、機構紹介動画を作成(YouTubeに掲載中)
- (3) 共創サロンを1回実施。初めてテーマを設定し、「ヘルステック」をテーマとして実施  
現在の「人にやさしいロボット研究会」を今年度で発展的解消とし、その流れを汲んだ新規研究会の立ち上げを支援中

### 2. 公的研究機関、独立行政法人、大学、経済団体等との連携による戦略的情報発信

【目標】外部団体と共催等によるセミナーの実施(3件)、属性情報やアンケート結果等の定量的な分析

【実績】関経連・産総研他と共催等によるセミナーの開催[3件]

- (1) サイバーセキュリティトップセミナー、第12回全国組込み産業フォーラム、オープンセミナー(講師との調整により4月下旬実施)
- (2) 全国組込み産業フォーラムは属性に応じた講演に対する評価を実施

### 3. 地域間連携及び団体間連携による更なる活動基盤の拡充

【目標】第12回全国組込み産業フォーラムによる中部地域や他地域団体との団体間・会員間の連携の創出

【実績】ASIFと共同での主催によりハイブリッド形態にて開催

- (1) 組込み関連団体、産総研、経産省等の既存連携団体との関係強化、新規連携2団体(つやま産業支援センター[中国]、EMoBIA[九州])との関係を構築

### 4. WINKコンテストを通じたオープンイノベーションの場の更なる充実

【目標】応募チーム15チーム以上

【実績】事前エントリー40チーム、うち、最終応募25チーム(31アイデア)の申し込みあり

- (1) 事前研修やアドバイザーコメント・対話会はビジネス企画のブラッシュアップに有効との意見が多数。ビジネス企画を事業化するための過程や方法を学ぶ機会となっている。また、ビジネス企画の事業化検討を継続するチームは8チーム中7チーム。